

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年1月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9

## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 1 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1 事後調査の概要（平成 27 年 1 月）

### 埋立地周辺における調査

#### (1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	1月1日～31日	通年連続

#### (2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	1月8日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

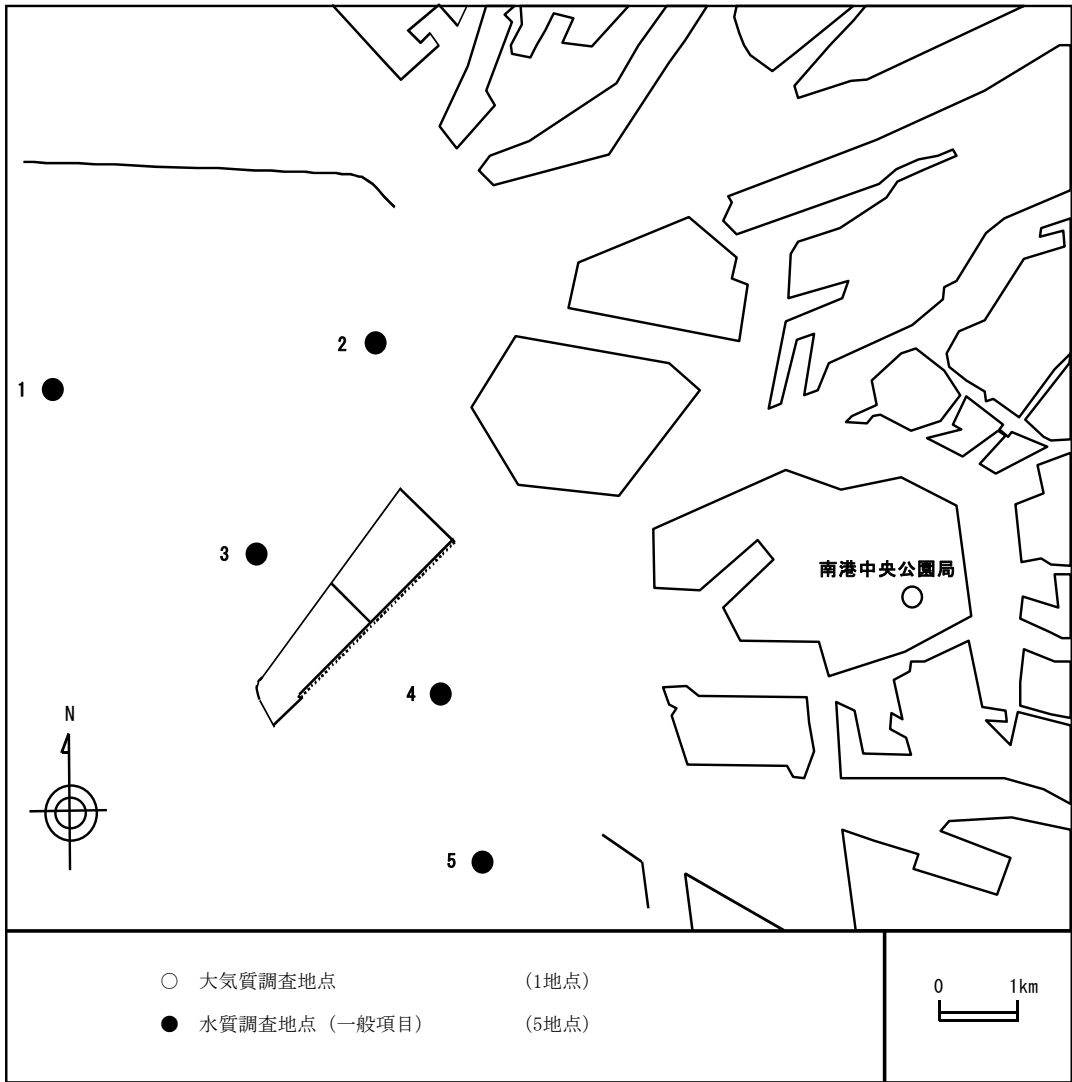
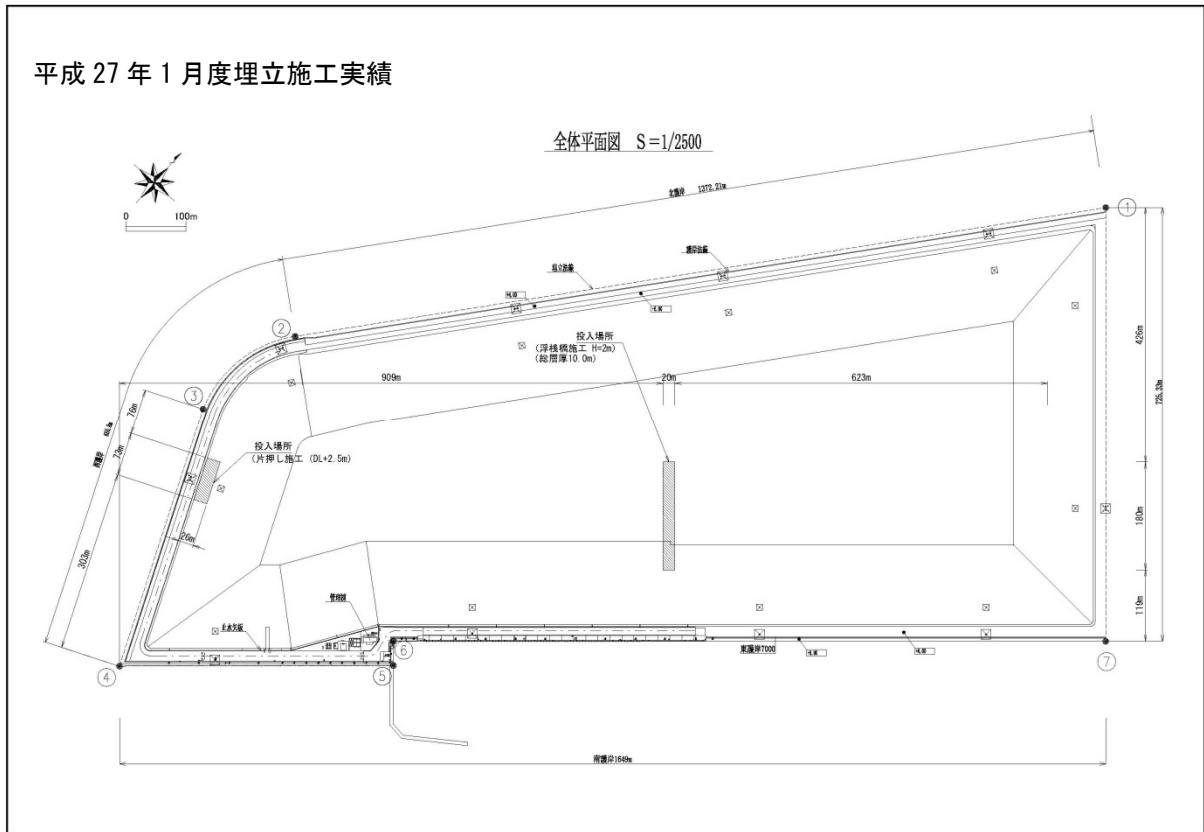


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 27 年 1 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 27 年 1 月の工事の実施状況は、図－2 に示すとおりである。

### 大阪沖処分場平面図



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
3,067,594	22.0

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図－2 工事の実施状況 (平成 27 年 1 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.005ppmであった。また、日平均値の最高値は0.009ppm、1時間値の最高値は0.018ppmであり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.025ppmであった。また、日平均値の最高値は0.049ppmであり、環境基準の範囲内であった。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.024mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.042mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.090mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.2の範囲、下層でいずれも8.1であり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.0～2.4mg/L、下層で1.6～1.9mg/Lの範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で8.2～9.2mg/L、下層で7.8～8.2mg/Lの範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

###### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は上層で0.42～0.72mg/L、下層で0.23～0.32mg/Lの範囲にあり、上層では調査地点2、3において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点2 (0.62mg/L)、調査地点3 (0.72mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で0.46～2.1mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.039~0.061mg/L、下層で 0.033~0.039mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、3、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.060mg/L)、調査地点 3 (0.061mg/L)、調査地点 5 (0.053mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1.7~2.2 度(カリン)、下層で 2.1~3.4 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 1~2mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 4.9~9.1  $\mu$ g/L、下層で 2.9~5.5  $\mu$ g/L の範囲であった。



## 《 参 考 》

### ■環境基準等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成27年1月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	3
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成27年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.004	0.005
	2 (金)	0.004	0.007
	3 (土)	0.004	0.006
	4 (日)	0.006	0.011
	5 (月)	0.009	0.018
	6 (火)	0.007	0.012
	7 (水)	0.005	0.008
	8 (木)	0.005	0.006
	9 (金)	0.005	0.007
	10 (土)	0.005	0.008
別	11 (日)	0.006	0.011
	12 (月)	0.004	0.006
	13 (火)	0.004	0.005
	14 (水)	0.008	0.016
	15 (木)	0.005	0.009
	16 (金)	0.006	0.008
	17 (土)	0.005	0.010
	18 (日)	0.005	0.009
	19 (月)	0.006	0.010
	20 (火)	0.006	0.011
値	21 (水)	0.007	0.012
	22 (木)	0.005	0.010
	23 (金)	0.005	0.009
	24 (土)	0.006	0.011
	25 (日)	0.008	0.016
	26 (月)	0.006	0.013
	27 (火)	0.006	0.010
	28 (水)	0.005	0.010
	29 (木)	0.004	0.007
	30 (金)	0.004	0.008
	31 (土)	0.004	0.008
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.018	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [平成27年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.001	0.002
	2 (金)	0.001	0.003
	3 (土)	0.002	0.013
	4 (日)	0.011	0.039
	5 (月)	0.032	0.101
	6 (火)	0.044	0.191
	7 (水)	0.005	0.017
	8 (木)	0.005	0.018
	9 (金)	0.014	0.037
	10 (土)	0.003	0.010
別	11 (日)	0.002	0.008
	12 (月)	0.001	0.002
	13 (火)	0.006	0.027
	14 (水)	0.077	0.201
	15 (木)	0.012	0.027
	16 (金)	0.010	0.051
	17 (土)	0.002	0.006
	18 (日)	0.005	0.025
	19 (月)	0.022	0.176
	20 (火)	0.006	0.014
値	21 (水)	0.036	0.104
	22 (木)	0.021	0.064
	23 (金)	0.005	0.016
	24 (土)	0.009	0.040
	25 (日)	0.019	0.054
	26 (月)	0.039	0.109
	27 (火)	0.010	0.033
	28 (水)	0.004	0.013
	29 (木)	0.011	0.033
	30 (金)	0.019	0.054
	31 (土)	0.002	0.005
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.014	
日平均値の最高値 (ppm)		0.077	
1時間値の最高値 (ppm)		0.201	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成27年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (木)	0.004	0.008
	2 (金)	0.006	0.015
	3 (土)	0.011	0.039
	4 (日)	0.029	0.038
	5 (月)	0.039	0.062
	6 (火)	0.037	0.060
	7 (水)	0.019	0.036
	8 (木)	0.018	0.036
	9 (金)	0.030	0.045
	10 (土)	0.014	0.024
	11 (日)	0.011	0.030
	12 (月)	0.008	0.013
	13 (火)	0.023	0.046
	14 (水)	0.049	0.070
	15 (木)	0.030	0.042
	16 (金)	0.028	0.051
	17 (土)	0.013	0.037
	18 (日)	0.018	0.046
	19 (月)	0.025	0.051
	20 (火)	0.027	0.045
	21 (水)	0.047	0.061
	22 (木)	0.035	0.045
	23 (金)	0.020	0.034
	24 (土)	0.026	0.047
	25 (日)	0.038	0.056
	26 (月)	0.045	0.055
	27 (火)	0.026	0.042
	28 (水)	0.015	0.027
	29 (木)	0.030	0.041
	30 (金)	0.035	0.045
	31 (土)	0.010	0.021
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (ppm)		0.025	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.049	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.070	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上 0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		3	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成27年1月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日 別 値	1 (木)	0.005	80.5	0.009
	2 (金)	0.007	81.7	0.018
	3 (土)	0.013	83.0	0.052
	4 (日)	0.040	72.2	0.074
	5 (月)	0.071	55.1	0.162
	6 (火)	0.081	45.6	0.250
	7 (水)	0.023	80.3	0.053
	8 (木)	0.023	78.1	0.054
	9 (金)	0.044	68.1	0.082
	10 (土)	0.017	84.4	0.034
	11 (日)	0.012	87.2	0.035
	12 (月)	0.009	85.5	0.015
	13 (火)	0.028	79.6	0.073
	14 (水)	0.126	39.0	0.271
	15 (木)	0.041	71.5	0.067
	16 (金)	0.038	74.4	0.102
	17 (土)	0.015	84.3	0.042
	18 (日)	0.023	78.6	0.071
	19 (月)	0.047	53.9	0.227
	20 (火)	0.032	82.8	0.055
	21 (水)	0.083	56.5	0.154
	22 (木)	0.056	61.7	0.107
	23 (金)	0.025	80.7	0.050
	24 (土)	0.035	74.6	0.080
	25 (日)	0.056	66.9	0.094
	26 (月)	0.084	53.2	0.164
	27 (火)	0.036	72.1	0.061
	28 (水)	0.018	80.5	0.040
	29 (木)	0.041	72.4	0.072
	30 (金)	0.053	64.9	0.099
	31 (土)	0.011	83.6	0.026
有効測定日数（日）		31		
測定時間（時間）		740		
月平均値（ppm）		0.039		
日平均値の最高値（ppm）		0.126		
1時間値の最高値（ppm）		0.271		
月平均値 NO <sub>2</sub> /（NO+NO <sub>2</sub> ）（%）		63.7		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/（NO+NO<sub>2</sub>）の算定方法は、下記のとおりである。

日（月）平均値NO<sub>2</sub>/（NO+NO<sub>2</sub>）＝

$$\frac{\text{（NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日（月）間にわたる総和）}}{\text{（NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日（月）間にわたる総和）}}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



浮遊粒子状物質測定結果 [平成27年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	1時間値の 最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )
日	1 (木)	0.011	0.031
	2 (金)	0.015	0.026
	3 (土)	0.010	0.033
	4 (日)	0.024	0.036
	5 (月)	0.040	0.069
	6 (火)	0.042	0.090
	7 (水)	0.012	0.023
	8 (木)	0.020	0.038
	9 (金)	0.018	0.032
	10 (土)	0.023	0.042
	11 (日)	0.019	0.034
	12 (月)	0.014	0.032
	13 (火)	0.015	0.036
	14 (水)	0.034	0.055
	15 (木)	0.020	0.040
別 値	16 (金)	0.032	0.043
	17 (土)	0.029	0.053
	18 (日)	0.017	0.032
	19 (月)	0.032	0.050
	20 (火)	0.029	0.047
	21 (水)	0.042	0.059
	22 (木)	0.031	0.046
	23 (金)	0.015	0.034
	24 (土)	0.018	0.039
	25 (日)	0.040	0.061
	26 (月)	0.040	0.069
	27 (火)	0.025	0.054
	28 (水)	0.015	0.030
	29 (木)	0.020	0.044
	30 (金)	0.020	0.036
	31 (土)	0.017	0.032
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.024	
日平均値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.042	
1時間値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.090	
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成27年1月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (木)	3.1	5.5	WNW	WNW
	2 (金)	3.6	7.2	WNW	WNW
	3 (土)	1.4	3.5	W	WNW
	4 (日)	0.8	2.2	SW	SW
	5 (月)	0.7	1.8	WNW	CALM
	6 (火)	1.5	3.3	NW	NW
	7 (水)	1.6	3.0	WNW	NW
	8 (木)	1.6	2.7	WNW	WNW
	9 (金)	1.2	3.7	WNW	WNW
	10 (土)	2.9	4.4	WNW	WNW
	11 (日)	2.2	4.7	WNW	WNW
	12 (月)	1.5	3.6	NW	NW
	13 (火)	1.2	2.5	NNE	WNW
	14 (水)	0.7	1.3	N	N
	15 (木)	2.0	3.8	ENE	NNE
別 値	16 (金)	0.8	2.1	NW	NW
	17 (土)	2.8	4.6	WNW	WNW
	18 (日)	1.2	3.1	SW	WSW
	19 (月)	2.2	5.5	WNW	WNW
	20 (火)	1.3	2.3	WNW	NNE
	21 (水)	1.0	1.6	NNE, NE	NNE
	22 (木)	1.4	2.5	NNE	NNE, WNW
	23 (金)	1.7	3.7	NW	NW
	24 (土)	1.0	2.5	WNW, SW	WNW, CALM
	25 (日)	0.8	1.9	NW	CALM
	26 (月)	1.3	2.0	NNE	NNE
	27 (火)	1.7	3.7	WSW	WSW
	28 (水)	1.5	2.4	NW	NNE
	29 (木)	0.8	1.4	NNE	NNE
	30 (金)	1.4	4.3	WNW	WNW
	31 (土)	2.3	4.1	NW	NW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.6			
月最大風速 (m/s)		7.2			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成27年1月分]

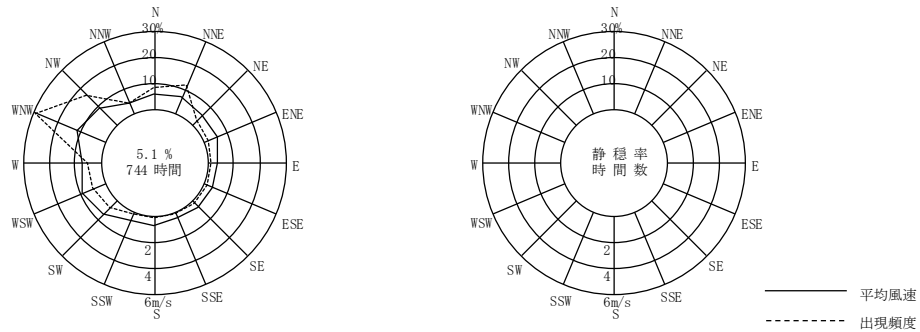
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	87	23	17	13	11	11	5	3	7	28	36	38	212	119	33	63	38	744
頻度 (%)	11.7	3.1	2.3	1.7	1.5	1.5	0.7	0.4	0.9	3.8	4.8	5.1	28.5	16.0	4.4	8.5	5.1	-
平均風速 (m/s)	1.4	1.1	1.2	0.8	0.8	0.7	0.5	0.7	0.7	1.4	1.8	1.4	2.3	1.8	0.9	1.2	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成27年1月分]

水質調査結果（一般項目）[平成27年1月分]

調査日：平成27年1月8日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値	平均値
	1	2							
時刻			8:50	8:26	9:09	9:53	9:36	—	—
透明度 [m]			4.4	3.9	3.9	3.4	3.6	3.4 ~ 4.4	3.8
水温 [°C]			9.9	9.5	9.6	9.9	9.8	9.5 ~ 9.9	9.7
			11.2	10.8	11.1	11.2	11.2	10.8 ~ 11.2	11.1
塩分 [—]			30.52	28.51	29.76	29.28	28.68	28.51 ~ 30.52	29.35
			31.63	31.56	31.60	31.63	31.64	31.56 ~ 31.64	31.61
濁度 [度(カリン)]			1.7	2.0	1.7	2.2	2.0	1.7 ~ 2.2	1.9
			3.2	2.5	3.4	2.3	2.1	2.1 ~ 3.4	2.7
浮遊物質量 (SS) [mg/L]			1	1	2	1	2	1 ~ 2	1
			3	3	3	3	2	2 ~ 3	3
水素イオン濃度 (pH) [—]			8.1	8.1	8.1	8.2	8.2	8.1 ~ 8.2	—
			8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1 ~ 8.1	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]			2.0	2.2	2.4	2.2	2.3	2.0 ~ 2.4	2.2
			1.8	1.8	1.6	1.8	1.9	1.6 ~ 1.9	1.8
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]		9.0	8.9	9.1	9.2	8.2	8.2 ~ 9.2	8.9
			8.0	7.8	8.2	8.1	8.1	7.8 ~ 8.2	8.0
	飽和度 [%]		97	94	97	98	87	87 ~ 98	95
			89	86	91	90	90	86 ~ 91	89
全窒素 (T-N) [mg/L]			0.42	0.62	0.72	0.51	0.52	0.42 ~ 0.72	0.56
			0.23	0.32	0.24	0.23	0.24	0.23 ~ 0.32	0.25
全磷 (T-P) [mg/L]			0.039	0.060	0.061	0.045	0.053	0.039 ~ 0.061	0.052
			0.038	0.039	0.036	0.038	0.033	0.033 ~ 0.039	0.037
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]			6.2	6.8	4.9	7.7	9.1	4.9 ~ 9.1	6.9
			2.9	5.5	2.9	3.1	3.5	2.9 ~ 5.5	3.6

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------